
離れていく君。追いかける俺。

雲龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

離れていく君。追いかける俺。

【Nコード】

N2270G

【作者名】

雲龍

【あらすじ】

奏斗の恋人、蘆夜は奏斗の前でも堂々と浮気をする。ついに、奏斗は辛くなり、蘆夜との別れを決心する。でも、結局最後はハッピーエンドで終わります！

プロローグ（前書き）

この小説は、ボーイズラブや浮気などを含みます。苦手な方はお戻り下さい。

プロローグ

午前2時。俺は、涙をこらえ、震える手でメールを打つ。

「俺の事、きっと嫌いになったんだよね。ごめんね。蘆夜アシヤに沢山の嫌な思いさせちゃって。でも、俺にいっぱい幸せ教えてくれてありがとう。バイバイ

奏斗カナト」

別れを告げるメールを今大好きな人に送ったのは、間違いなく．．
俺、奏斗だ

メールを送信するボタンを押すのにどれだけ手が震えた？
．．．何度、蘆夜から離れるのをやめようとした？

気持ちはまだ揺れている。

“送信完了”という表示。今の俺にとっては、蘆夜との別れを本当にしたんだ．．という、再確認の言葉。

どうか、勝手に貴方から離れて行く俺を許して??

貴方が、俺を愛してくれるなんて全く思ってた。なかった。

だって、貴方には特別な人がいる。そして、その人との恋が叶

わないから、沢山の人を抱いてるんだ。俺もその一人に過ぎない。

俺が蘆夜の遊びに耐えられれば、良かったんだよね・・・でも、ごめんね。

もう、限界が近づいてきてるみたい。

だから、貴方とはサヨナラします。きつと、もう会うことは無いだろうね。

バイバイ。

出会い 奏斗SIDE

奏斗：SIDE

「ねえ、蘆夜。キスして？」

「ねえ、蘆夜、今日僕と遊びに行こうよ！」

俺の恋人（？）蘆夜の周りにいる、可愛い違うクラスの男の子たちは、みんな蘆夜の浮気相手だ。

．．．仮にも、恋人なんだからさ。俺の気持ちも考えて欲しい。でもさ、もう分かってるんだ。蘆夜の本当気持ち。

蘆夜の、気持ちは完全に、この学校の生徒会副会長、片瀬^{カタセ}輝^{ヒカル}に向いている。でも、片瀬はこの俺たちが通っている男子校の唯一の花的な存在な訳で。

だから、俺はもう何にも期待しない．．．なんて言えたら良いのに。ねえ、蘆夜？俺たち出会わなかった方が良かったかもな。

．．．そう、俺と蘆夜が出会ったのは、今年の春。高校二年のクラス替えでのことだった。

俺たちの学校は年に一度、クラス替えというものをする。クラス替

えをすると、自分でその新しいクラスまで机を運ばなくてはならない。

俺は、クラス替えが大嫌いだ。

なぜかって？それは、俺が極度の人見知りだからだ。一年のとき、初めて親友と呼べるくらいに仲良くなった章太とも、このクラス替えのせいで、二年は別々になった。

自分の新しいクラス2・E組についた。番号順に並ぶから・・・と3番・・・3番・・・ここだ！！と思いきここに机を置いて、隣を見た。

隣を見た俺は、時が止まったかと思った。

なぜなら、俺とは全く正反対の奴がいたのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2270g/>

離れていく君。追いかける俺。

2011年1月25日15時14分発行